

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	観光ビジネス論Ⅱ		(NGH22H)
講義名 (コード)	観光ビジネス論Ⅱ		(NGH22HX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	日本の産業やビジネスを理解し、自分自身の職業選択や職業人生を前向きに邁進できる知識を身につける。
全体的内容と概要	日本全体と長野県を中心に、地域の産業の共通点や相違点について習得する。
授業時間外の学修	授業内で発表準備が間に合わないときはホームワーク
履修上の注意事項等	授業での言語は原則日本語で実施するため、ヒヤリング出来る程度の日本語学力が必須

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	出席率60%以上で期末試験受験者を対象とする。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本伝統衣装を理解できる	日本の伝統的な“着物”のことや歴史を知る
2	日本伝統衣装を体感できる	着物を実際に簡単に着てみる
3	現代の“着物”と日本の美学を理解できる	日本ならではの美的感性“粋”“雅”“侘び寂び”などを知る
4	着物ビジネスを考える事ができる	日本人の衰退している伝統衣装の過去と現状を踏まえ、外国人生徒ならではの日本伝統衣装のビジネスを考えてみる
5	考えた着物ビジネスを発表することができる	各自で考えた“着物ビジネス”を発表する
6	日本のハイテクトイレを知ることができる	魅力的な観光づくりのカギ「快適なトイレ」とは。地域の印象を大きく左右する観光地のトイレの機能や役割を知る
7	旅行の意義を知ることができる	人々はなぜ観光をするのか？「旅行の」の意味を改めて考えてみる
8	観光の役割と効果を理解できる	経済活動を中心に、観光はさまざまな面で良い影響があり、観光の役割と効果を知り、考えてみる
9	日本人のしきたりを理解できる I	日本人の生活指標の根幹を成す“しきたり”を知る
10	日本人のしきたりを理解できる II	季節の行事・家内安全・神だのみなどを知る
11	働き方の多様性を理解できる	働き方の多様性、副業（副業）、パラレルワークを知る
12	日本の観光ビジネスを考えることができる	一年間、日本の観光ビジネスを学んで、感じたことのプレゼンをする
13	期末試表準備ができる	テスト用プレゼン資料作成
14	期末テスト	テスト実施
15	テスト内容フィードバック	テスト内容に関するフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし
参考文献・資料等	日本のしきたり入門、長野県の大正解、大人のための歴史と経済の教科書 等
備考	